

睡眠時無呼吸症候群の検査・治療について

睡眠時無呼吸症候群は、睡眠中に無呼吸を来たすことで日中の眠気が生じる症候群で、新幹線運転手の居眠り運転などをきっかけに広く知られるようになりました。睡眠は日中に活動した脳や身体を休息させるためのものですが、睡眠中に繰り返し呼吸が停止することで身体に大きな負担がかかり、日中の強い眠気や疲労感、集中力の低下などが生じます。また、高血圧や心筋梗塞などのリスクを上げることも知られています。睡眠時無呼吸症候群の中でも、上気道が閉塞することで無呼吸を来たす閉塞性睡眠時無呼吸症候群は、適切な治療により症状が劇的に改善するため、正確な診断が必要となります。

【診断、治療の流れ】

ステップ1

睡眠時無呼吸症候群が疑われる場合

自宅での簡易モニター検査(外来受診)

自宅で手軽にいびきや呼吸をチェックする検査です。外来受診していただき、問診後に自宅で行える検査器具の手配をします。

診療日：月曜日・木曜日（受付 8：30～11：00）要予約
一度外来受診を行い、日程を調整しています。
出来れば紹介状をご持参ください。
料金目安：3割負担の方で 3,600 円

ステップ2

簡易検査の結果、確定診断のための詳細な検査

睡眠ポリグラフ検査（PSG検査）（1泊入院）

診療日：月曜日・木曜日（受付 8：30～11：00）要予約
1泊入院（14：00 来院、翌朝退院）となります。
一度外来受診を行い、日程を調整しています。
出来れば紹介状をご持参ください。
料金目安：3割負担の方で 34,300 円

かかりつけ医療機関で簡易モニター検査が済んでいる場合は、PSG検査のみ当院で行います。

ステップ3

診断、関連疾患のリスク評価と治療

適応がある方への持続気導陽圧マスク（CPAPマスク）の導入と調整を行ないます。症状安定後は、かかりつけ医療機関で継続的なフォローをしていただきます。